

1.工事概要 表面(様式6-09-03)に必ず記入してください

建築工事に於いて、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体工事と新築分の数量を区分し、それぞれ別の様式を作成してください。

裏面

2.建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)		
		現場内利用		減量化		搬出先名簿		区分 どちらかに○ を付ける	施工条件の内容 コード※12	搬出先場所住所			搬出先の種類 コード※13	④現場外搬出量			⑤再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)	
		用途 コード※10	②利用量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで	用途 コード※11	③減量化量 小数点第三位まで	2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる場合は用紙を換えてください。			住所 コード※4	運搬距離			④現場外搬出量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで			
資材廃棄物	コンクリート塊	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%
	建設発生木材A (柱、ボードなど木製資材が廃棄物になったもの)	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%
	アスファルト・コンクリート塊	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%
建設廃棄物	その他がれき類	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%
	建設発生木材B (立木、除根材などの廃棄物となったもの)	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%
	建設汚泥	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%
	金属くず	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%
	廃塩化ビニル管・接手	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・接手を除く)	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%
	廃石膏ボード	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%
	紙くず	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%
	アスベスト (飛散性)	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%
	その他の分別された廃棄物	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%
	建設発生土	第一種 建設発生土	地山m ³		地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共 民間							km	地山m ³	地山m ³	地山m ³
第二種 建設発生土		地山m ³		地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共 民間							km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
第三種 建設発生土		地山m ³		地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共 民間							km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
第四種 建設発生土		地山m ³		地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共 民間							km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
浚渫土以外の泥土		地山m ³		地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共 民間							km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
浚渫土 (建設汚泥を除く)		地山m ³		地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共 民間							km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
合計		地山m ³		地山m ³	地山m ³										地山m ³	地山m ³	地山m ³	%

コード※10
1.路2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他

コード※11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥
4.その他

コード※12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、発注後に設計変更指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード※13
【建設廃棄物の場合】
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サマルサイト)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

【建設発生土の場合】
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
4.土質改良プラント
5.工事予定地・仮置場・ストックヤード(再利用の目的がある場合)
6.工事予定地・仮置場・ストックヤード(再利用の目的がない場合)
7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
10.土捨場・残土処分場

注記
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※6.9.10.へ搬出した場合は有効利用とみなされません。

1.工事概要 表面(様式6-09-03)に必ず記入してください

建築工事に於いて、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体工事と新築分の数量を区分し、それぞれ別の様式を作成してください。

裏面

2.建設副産物搬出実施

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)			
		現場内利用		減量化		搬出先名簿		区分 どちらかに○ を付ける	施工条件の内容 コード※12	搬出先場所住所			搬出先の種類 コード※13	④現場外搬出量			⑤再生資源利用促進率 小数点第三位まで		
		用途 コード※10	②利用量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで	用途 コード※11	③減量化量 小数点第三位まで	2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる場合は用紙を換えてください。			住所 コード※4	運搬距離			④現場外搬出量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで				
資材廃棄物	コンクリート塊	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%	
	建設発生木材A (柱、ボードなど木製資材が廃棄物になったもの)	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%	
	アスファルト・コンクリート塊	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%	
建設廃棄物	その他がれき類	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%	
	建設発生木材B (立木、除根材などの廃棄物となったもの)	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%	
	建設汚泥	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%	
	金属くず	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%	
	廃塩化ビニル管・接手	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・接手を除く)	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%	
	廃石膏ボード	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%	
	紙くず	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%	
	アスベスト (飛散性)	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%	
	その他の分別された廃棄物	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%	
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン		トン	トン	搬出先1	公共 民間							km	トン	トン	トン	%	
	建設発生土	第一種 建設発生土	地山m ³		地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共 民間							km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
		第二種 建設発生土	地山m ³		地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共 民間							km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
第三種 建設発生土		地山m ³		地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共 民間							km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
第四種 建設発生土		地山m ³		地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共 民間							km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土以外の泥土		地山m ³		地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共 民間							km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土 (建設汚泥を除く)		地山m ³		地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共 民間							km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
合計		地山m ³		地山m ³	地山m ³										地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	

コード※10
1.路2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他

コード※11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥
4.その他

コード※12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、発注後に設計変更指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード※13
【建設廃棄物の場合】
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サマルサイト)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

【建設発生土の場合】
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
4.土質改良プラント
5.工事予定地・仮置場・ストックヤード(再利用の目的がある場合)
6.工事予定地・仮置場・ストックヤード(再利用の目的がない場合)
7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
10.土捨場・残土処分場

注記
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※6.9.10.へ搬出した場合は有効利用とみなされません。